



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3799 URL http://www.keyware.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三田 昌弘
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 後根 桂二 (TEL) 03(3290)1111
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	11,139	△1.6	△327	—	△312	—	△374	—
27年3月期第3四半期	11,320	△6.1	△449	—	△463	—	△532	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △406 百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △443 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△45.28	—
27年3月期第3四半期	△64.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	9,096	5,414	59.5
27年3月期	9,574	5,793	60.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 5,414 百万円 27年3月期 5,793 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	8.0	500	—	420	—	370	—	44.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	9,110,000株	27年3月期	9,110,000株
② 期末自己株式数	813,699株	27年3月期	866,799株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	8,265,400株	27年3月期3Q	8,193,952株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(受注の状況)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとした新興国経済の減速等が懸念されたものの、政府の経済政策や金融政策に加えて、原油安に伴う企業業績の良好な推移、雇用情勢の改善等により、緩やかな回復基調が継続いたしました。

当社が属する情報サービス産業におきましては、本年1月に経済産業省が発表した平成27年11月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高は昨年9月に前年同月比で1.0%減となったものの、同年11月は2.0%増と再び増加基調にあります。また、売上高全体の半分を占める「受注ソフトウェア」も同年11月は2.4%増と増加基調にあります。

このような状況のもと当社グループは、創立50周年の節目である今期を初年度とする新たな3ヵ年中期経営計画「中期経営計画2015」を策定し、基本方針である「既存事業の収益性向上と安定化」、「ポートフォリオの多様化」、「経営基盤の整備、改革」に取り組んでおります。前期において業績に多大な影響を与えた不採算プロジェクトの抑制につきましては、中期経営計画の重要課題として掲げ、発生防止に向けての取り組みを強化した結果、当第3四半期連結累計期間においては不採算プロジェクトにかかるコストが大幅に減少いたしました。しかしながら、官庁系・運輸系の既存顧客からのシステム更新等が端境期に当たり、それを補うべく流通系を始めとした他分野の新規案件獲得を積極的に推進したものの、受注・売上高につきましては前年同期を下回る結果となりました。損益につきましては、前年から改善したものの損失計上となりました。

以上のような状況により、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は11,294百万円(前年同期比272百万円減、2.4%減)、売上高は11,139百万円(同181百万円減、1.6%減)、営業損失は327百万円(前年同期は449百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は374百万円(前年同期は532百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① システム開発事業

受注高は7,243百万円(前年同期比886百万円減、10.9%減)、売上高は7,178百万円(同601百万円減、7.7%減)、営業損失は206百万円(前年同期は356百万円の損失)となりました。

今期は、官庁系・運輸系の既存顧客からのシステム更新等の大型案件が端境期に当たり、これら顧客からの需要の減退が予想されたことから、メディア系・流通系などを中心に積極的に営業活動を推し進めた結果、メディア系においては新規の大型案件、流通系では既存案件の拡大などの受注を獲得いたしました。運輸系においても新規案件の獲得があったものの、需要の減退に伴う既存案件の減少を補うまでにはいたらず、受注・売上高ともに前年同期を下回る結果となりました。損益面につきましては、不採算プロジェクトの抑制を一層強化したことなどにより、前年同期から損失を縮小させることができました。

② S I 事業

受注高は1,125百万円(前年同期比260百万円減、18.8%減)、売上高は1,433百万円(同82百万円減、5.5%減)、営業利益は87百万円(同33百万円増、62.0%増)となりました。

既存顧客に対する提案活動を積極的に推し進めたことなどにより、上期での既存顧客のグローバル展開案件への参画に加え、下期ではERP系の新規案件の獲得に成功いたしました。しかしながら、ERP系の大型案件や既存顧客の改修案件などの受注獲得が当初の見込みまでにはいたらず、受注・売上高ともに前年同期を下回る結果となりました。損益面につきましては、収益改善がはかられ、前年同期を上回ることができました。

③ プラットフォーム事業

受注高は1,917百万円(前年同期比1,162百万円増、154.1%増)、売上高は1,283百万円(同563百万円増、78.2%増)、営業損失は51百万円(前年同期は115百万円の損失)となりました。

第1四半期に受注したインフラ構築系の大型案件により、受注・売上高ともに前年同期から大幅な増となりました。損益面につきましては、前述の大型案件が、収益性の低い機器調達が大半を占めていることなどにより、営業損失を解消するまでにはいたりませんでした。売上高の増加に伴い、前年同期から損失を縮小させることができました。

④ その他

その他に含まれる事業は、主に運用・保守、機器販売・ライセンス販売等であります。

受注高は1,008百万円(前年同期比288百万円減、22.2%減)、売上高は1,243百万円(同60百万円減、4.6%減)、営

業損失は82百万円(前年同期は38百万円の損失)となりました。

受注・売上高につきましては、機器およびライセンス等の製品販売が堅調に推移したものの、E C / W e b系の案件減少を補うまでにはならず、前年同期を下回る結果となりました。損益面につきましては、製品販売を中心に営業力強化をはかるべく営業体制の見直しを行い、積極的に受注獲得を目指したものの、当初見込んでいた案件の獲得までにはならず、営業損失を計上する結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、5,246百万円(前連結会計年度末比287百万円減、5.2%減)となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の減少、有価証券の償還による減少、仕掛品の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は、3,850百万円(前連結会計年度末比189百万円減、4.7%減)となりました。主な減少要因は、ソフトウェアの償却による減少であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,624百万円(前連結会計年度末比254百万円減、8.8%減)となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少、1年内返済予定の長期借入金の増加、賞与引当金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、1,057百万円(前連結会計年度末比155百万円増、17.3%増)となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、5,414百万円(前連結会計年度末比378百万円減、6.5%減)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成27年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当社グループの売上高は、事業の性質からくる季節的変動により第4四半期連結会計期間に偏ることから、通期の業績予想に対し第3四半期連結累計期間までの売上高および損益の割合が低くなっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(「連結財務諸表に関する会計基準」等の適用)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	981,988	946,929
受取手形及び売掛金	3,998,230	3,457,323
有価証券	100,910	—
商品及び製品	144,751	109,852
仕掛品	130,431	562,528
その他	181,242	172,500
貸倒引当金	△3,660	△2,881
流動資産合計	5,533,894	5,246,251
固定資産		
有形固定資産	127,314	121,583
無形固定資産		
のれん	512,312	483,051
その他	581,957	497,926
無形固定資産合計	1,094,270	980,977
投資その他の資産		
投資有価証券	2,689,670	2,610,774
その他	131,937	140,011
貸倒引当金	△2,886	△2,886
投資その他の資産合計	2,818,722	2,747,900
固定資産合計	4,040,307	3,850,461
資産合計	9,574,201	9,096,713

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	761,382	609,483
短期借入金	500,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	310,000	476,666
未払法人税等	29,556	13,014
賞与引当金	533,065	270,841
受注損失引当金	1,467	8,400
その他	743,169	945,605
流動負債合計	2,878,642	2,624,011
固定負債		
長期借入金	772,801	930,217
資産除去債務	97,189	99,965
その他	31,864	27,586
固定負債合計	901,855	1,057,768
負債合計	3,780,498	3,681,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	3,647,086	3,272,855
自己株式	△293,049	△265,631
株主資本合計	5,598,511	5,251,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,434	36,528
退職給付に係る調整累計額	153,756	126,705
その他の包括利益累計額合計	195,191	163,233
純資産合計	5,793,702	5,414,932
負債純資産合計	9,574,201	9,096,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	11,320,859	11,139,784
売上原価	9,903,642	9,495,661
売上総利益	1,417,216	1,644,123
販売費及び一般管理費	1,866,626	1,971,704
営業損失(△)	△449,409	△327,581
営業外収益		
受取利息	2,868	2,270
受取配当金	2,169	2,389
投資事業組合運用益	6,919	16,700
持分法による投資利益	—	24,953
その他	26,361	18,632
営業外収益合計	38,318	64,945
営業外費用		
支払利息	21,896	18,374
支払手数料	15,321	29,131
持分法による投資損失	13,155	—
その他	1,720	2,781
営業外費用合計	52,093	50,287
経常損失(△)	△463,185	△312,922
特別損失		
投資有価証券評価損	2,290	—
特別損失合計	2,290	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△465,475	△312,922
法人税等	66,558	61,308
四半期純損失(△)	△532,034	△374,230
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△532,034	△374,230

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△532,034	△374,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,489	△6,247
持分法適用会社に対する持分相当額	87,347	△25,709
その他の包括利益合計	88,837	△31,957
四半期包括利益	△443,196	△406,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△443,196	△406,188
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額 (注)3
	システム開 発事業	S I 事業	プラットフ ォーム事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,780,070	1,516,539	719,994	10,016,603	1,304,255	11,320,859	—	11,320,859
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	449,877	10,911	319	461,108	274,052	735,160	△735,160	—
計	8,229,947	1,527,451	720,313	10,477,712	1,578,307	12,056,020	△735,160	11,320,859
セグメント利益 又は損失(△)	△356,215	53,980	△115,190	△417,425	△38,350	△455,775	6,365	△449,409

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に運用・保守、機器販売等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額6,365千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額 (注)3
	システム開 発事業	S I 事業	プラットフ ォーム事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,178,809	1,433,871	1,283,334	9,896,015	1,243,769	11,139,784	—	11,139,784
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	276,055	9,534	1,097	286,687	368,152	654,840	△654,840	—
計	7,454,865	1,443,405	1,284,432	10,182,703	1,611,921	11,794,624	△654,840	11,139,784
セグメント利益 又は損失(△)	△206,123	87,422	△51,243	△169,944	△82,450	△252,394	△75,186	△327,581

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に運用・保守、機器販売等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△75,186千円は、セグメント間取引消去および各報告セグメントに配分していない全社費用等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 補足情報

(受注の状況)

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発事業	7,243,510	△10.9	2,497,851	△20.1
S I 事業	1,125,439	△18.8	172,985	△55.2
プラットフォーム事業	1,917,283	154.1	876,050	226.2
その他	1,008,406	△22.2	180,510	△58.7
合 計	11,294,640	△2.4	3,727,398	△11.6

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。